

## 知事賞

What is white?

裾野市内中学校

一年 小林 さん

"What is white?"

これは、四月の英語の授業に出てきた文章です。教科書では "Snow is white." となっていました。わたしは "Water is white, shining with the flow." とノートに書きました。

この三月、わたしは東京都の世田谷区から静岡県東部の長泉町に引っ越してきました。中学生になって、初めての先生、友人と出会い、新しい生活が始まりました。雄大な富士山、最寄りの無人駅からの通学、夜空のまぶしい星、朝の鳥のさえずりや夕の虫の音など、今までとは全く違う環境で過ごしています。何より驚いたのは、水道の蛇口をひねって出てきた水しぶきが、輝いて白く見えたことでした。

長泉の町内には大小さまざまな川が流れています。自宅の脇道にも小川が勢いよく流れていて、毎朝水しぶきの白さがまぶしいです。水の輝きにすっかり魅了されたわたしは、その様子に迫ってみたくなり、町役場を訪ねました。役場にあるパンフレットを見ると、水道水は百パーセント天然水。富士山や愛鷹山、箱根山に降った雨や雪解け水が地下を流れていて、それを汲み上げたものを飲み水としていること、また、きれいな水を利用してワサビを栽培していることも知りました。そして、今も町内には十二カ所の井戸があって、深さは手で掘った六〜十メートルほどのも

のから、機械で掘った四十〜二百五十メートルのものまであり、昔の井戸も現役として活用されているそうです。自然の恵みと、水を大切にしてきた人々の心が連鎖して、わたしたちの暮らしを豊かにしてくれているのだと実感しました。

長泉に暮らすようになって驚いたことがもう一つあります。それは、わたしの髪の毛が急にサラサラになったことです。シャンプーを変えたわけではないのに、今までパサだった髪の毛がきれいにまとまるようになりました。美容院でその話をしてみると、

「きつと水の違いだね。」

と言われました。調べてみると水の硬度が関係しているようでした。世田谷区の水の硬度が六十〜七十  $mg/l$  であるのに対して、長泉の水は二十五〜五十  $mg/l$ 、「軟水」なのだそうです。同じ水道水でも場所によって硬度がこんなに違うのだと、びっくりしました。「軟水」はカルシウムやマグネシウムといった金属質が少ないため、髪の毛に摩擦が起きにくいのだそうです。また、皮膚のバリア機能を高めて潤いを保つ働きがあつて、抜け毛や炎症も和らげると言います。水の硬度が低いおかげで、心身ともに健康に過ごすことができ、水にわたしは支えてもらっているのだなあと感じました。

きれいな水、おいしい水は自然がわたしたちに与えてくれた大きな恵みです。豊かな自然と温暖な気候のおかげでわたしたちは安心して生活することができます。今、わたしたちが水の恩恵を受けられるのは、これまでの人々が水環境を守る努力をしてきたことも大きいと思います。これ将来に引き継ぐために、何ができるでしょうか。

水の大切さを実感した今、わたしは節水や水の汚れを防ぐことをより強く意識するようになりました。町内の井戸巡りも興味がわいてきました。長泉の水がわたしに水の大切さを教えてくれたのです。「知る」ことは考えを深め、行動を変えるのです。

わたしの中学生生活は始まったばかりですが、高校を卒業する六年後の自分に、こう聞いてみたいと思っています。  
"What is white? How do you do to protect the shining?"  
六年後のわたしがどんな答えを返すのか、今から楽しみます。